

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年10月23日（水）
- 2 確認箇所
5／6号機取水路開渠（図1）
- 3 確認項目
5／6号機取水路開渠内浚渫作業の状況

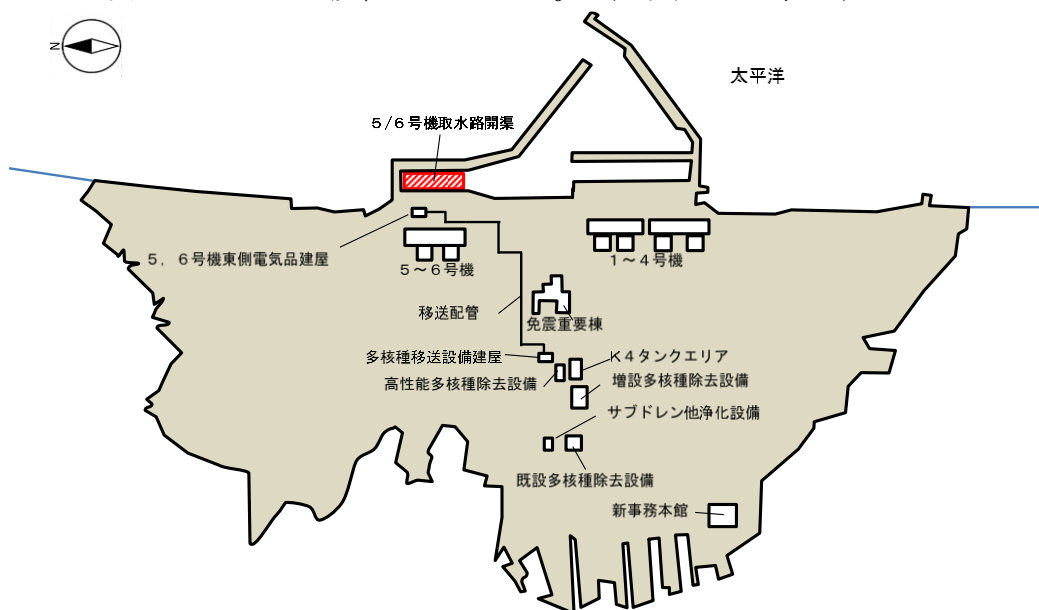
4 確認結果の概要

多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）は、トリチウム濃度が1,500Bq/L未満となるよう、海水で十分に希釈してから海洋に放出している。

希釈用の海水は、5／6号機取水路開渠（港湾内）から5号機取水路を通じて取水している。取水に伴い港湾外から5／6号機取水路開渠内に砂が流入し、取水に影響を及ぼす恐れがあるため、海底の堆砂状況に応じて浚渫作業が行われている。

今回は、浚渫作業効率化のため、5／6号機取水路開渠内北側に栈橋の設置が計画されていることから、その作業の状況について確認を行った。

- ・確認時には栈橋の基礎となる鋼管杭が北西側に9本、北東側に6本、計15本設置されていた。（写真1）
- ・北東側には割栗石による足場が設置され、鋼管杭を打設するためのハンマー及びクレーンが設置されていた。（写真1-3、2）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)

5/6号機取水路開渠北側における
 栈橋基礎となる鋼管杭の設置状況
 (南西側から撮影)



(写真1-2)

鋼管杭北西側9本の状況
 (東南側から撮影)



(写真1-3)

鋼管杭北東の状況
 (北東側から撮影)



(写真2-1)

鋼管杭を打設するためのハンマー



(写真2-2)

北東側の足場に設置されたクレーン

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。